

「ゆふべ辻潤のところにとまつて、之を書いたんです、此の本の批評ですが」夢を喰ふ人と著者へ、読んで聞かす。

無想庵は國はどちらだと言ふやうな事を聞く。

「僕の妻も伊豫だが、イトコで松山で新聞記者をしてゐた女が、今僕のところ居るんだよ、詩も書いたりするんだ、まだ十八だがね」

それから結婚禮讚の話をする。

蓄音機が奥から聞える。

「僕の子供は音楽好きでね

僕は神経衰弱で、メマヒがして、心臓肥大症で結滯して、血液検査をしたら老衰だと言ふんだ  
梅毒はないらしいが、此の頃酒もタバコも止めてゐる」

「ダ、佛問答を読んで見ませう。

ダ、は一切を断し否定する

佛、一切の知は知に非ず、一切は又一切に非ず」